

## 未来を探検する子どもたち — 『エクスプロラビジョン・アワード』

(株)東芝 社会貢献室  
参事 広岡奈緒

東芝グループでは経営理念の1つとして、「社会に貢献します」を掲げ、「地域社会の活動および社会貢献活動に積極的に参加すること」を行動基準に定めている。また東芝グループの海外売り上げ比率は50%を超え、社長の西田は機会あるごとに「地球内企業であれ」と従業員に呼びかける。『地球内企業』は西田の造語だが、「世界のそれぞれの国々や地域の文化や歴史、慣習の違いを認識し、尊重しながら企業経営をおこなう」という意味を含んでいる。東芝グループにとってグローバルな社会貢献活動は、企業経営そのものである。

2007年は世界の東芝グループ199社の従業員8万人以上が参加し、1115件の社会貢献活動を実施したが、そのうち232件が海外での活動であった。本稿では、この中から「技術の東芝」が子どもたちの科学教育を支援するという観点で、もっとも「東芝らしい」活動である『エクスプロラビジョン・アワード (ExploraVision Awards 以下EVAと表記)』を紹介する。

### 子どもたちの科学コンクール

EVAは、北米の東芝グループ\*が、全米科学教師協会(NSTA)と協働で年1回開催している科学コンクールで、すでに15年の実績がある。アメリカとカナダの幼稚園から高校までの子どもたちが4つの年齢別グレードで2~4名のチームを作り、教師やメンターの指導を受けながら科学技術の理解を深め、技術が社会で活かされるさまを調査し、理解力や創造性、表現力を競い合う。



15回優勝チーム「エディソンアカデミー」(オハイオ州) このコンクールはまるで未来を探検(exploration)するように20年後の技術と人々の暮らしを、ビジョン(vision)として提案することから、エクスプロラビジョン(ExploraVision)と名づけられた。

これまでの累計参加者数は23万人を超える。2007年は4705チーム、1万4681名のエントリーがあり、8チーム、28名の子どもたちをワシントンDCに招待して表彰した。併せて2006年には、長年にわたりEVAに貢献した教師5名に、当社創業130周年を記念した“インスピレーション



表彰式会場で子どもたちと話をする当社・岡村正会長

ン賞”を授与した。

2007年の全国優勝チームのビジョンを紹介する。ひとつは従来の人工腎臓による透析に代えて患者自身の細胞からつくった分子によって血液中の不純物などを取り除くシステムで、ナノテクノロジーを活用している。もうひとつは糖尿病の薬で、月に1度の吸入により継続的にインシュリンを供給し、血糖値を調整することができるものだ。このテーマ選択は糖尿病の友人を助けたいという子どもたちの希望によると聞く。その他の受賞チームのビジョンも下記Webサイトで見ることができる。

<http://www.exploravision.org/winners/>

## 科学するところと才能を伸ばす

EVAの目的は、現在の技術に対する理解を深め、それをきっかけに未来へ希望を持ち、才能を伸ばしていく機会を提供することだ。

研究テーマは、子どもたちの関心に応じて自由に設定され、教師やメンターの支援を得ながらチームで協力して、未来の技術のビジョンを完成させていく。20年後という設定にはこだわりがある。20年前に携帯電話・ノートPCの普及は想像できなかつたように、進歩が早い現在では20年はかなり長い時間を意味する。しかし一方で、5歳の子どもたちは20年後に大人になる。子どもたちは自身の20年後に思いをさせ、将来の希望や自分の役割についても考えることになる。私たちはそのことにも重要な意味があると考えている。

運営上の最も大きな課題のひとつが、表彰チームの選定方法である。まず6つの地区で予選をおこない、現在の技術に対する理解、研究の質、創造性について判定し、地区ごとに各年齢グレードの優勝チームを決定する。24の地区優勝チームには、東芝のノートPCとデジタルカメラが寄贈



子どもたちのビジョンの展示

され、チームはそれらの機材を使いホームページを作り最終選考に臨む。最新の技術を駆使し、考えを分かりやすく正確に伝えることも、科学者の大切なスキルだからである。

## 子どもたちの未来に向かって

このコンテストに参加した子どもたちの多くが、さまざまな分野に進み、優秀な科学者も輩出している。これは大変うれしいことであるが、必ずしも科学者にならなくても、少なくとも「科学的リテラシー」つまり科学的に読む、見る、書く、話すといったことが自然にできる大人になることに、EVAが役立っていることは確かだと自負している。

東芝グループでは北米地域でのEVAの成功を受け、日本国内でも同様の計画を進めているところである。

\*東芝アメリカ社、東芝アメリカ情報システム社、東芝アメリカビジネスソリューション社、東芝アメリカ家電社、東芝インターナショナル米国社、東芝アメリカ電子部品社、東芝アメリカメディカルシステムズ社、東芝カナダ社、東芝アメリカ財団、東芝

◆東芝の社会貢献活動

<http://www.toshiba.co.jp/social/jp/>